

暴力団の大学関与は如何なものか

日大のアメリカンフットボール部の不祥事が社会的な大問題となり監督らの処分だけで済まされず、それを飛び越えて日大トップの理事長や執行部の体質改善にまで発展している。現理事長田中氏は以前から暴力団と結びつき、それを強力な武器として不正に入手した大金を使って約10年前にその座を勝ち取った。大学の選挙規定を思い通りに書き換え、これまでの総長職を学長職に降格させて自らをトップの理事長の座に据えて独裁経営を行い、大学自体の組織をおかしくさせてしまった。

これまでの大学組織とは全く違ってしまっただが、不満を言えば飛ばされたり嫌がらせを受けたりで、内部に良識人は沢山いてもバックの暴力団が怖くて誰ひとり手を出せない状態が続いてきていた。

このような以前からの理事長の暴力団との繋がりを知りながら、約10年前に理事長に担ぎ上げた元副理事長、元常任理事、元理事等（ちゃんこ鍋屋の常連者）の人たちも、今回と同様に重い処分を受けるべきであろう。これらの人達によってアメフト始め、大学全体の歯車が狂ってしまい、50年前の日大闘争の再現とまで言われている。

これまでに、日本の大学で暴力団が関与したという話は過去に一度も聞いたことがない。大学は学問の府であることさえ知らない無知の人間が私利私欲や自己顕示力のためにやっているとしたら思えない現状を憂いてしまう。どうか、他大学にも拡散しないよう、マスコミの力を借りて内部の力で改革して本来の教育の場としての大学を取り戻してほしい。いま変わらなければ最悪の体制が継続して更に悪化してしまう気がする。